



陳情第30-2号

平成30年2月7日

各市議会議長 様

関東市議会議長会会長



地方創生及び国土強靱化に向けた首都圏外周環状線の連結強化の
ための整備促進を求める意見書の提出について

余寒の候、ますます、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

関東市議会議長会においては、平素より、皆様のご理解とご協力をいただき、
厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、桐生市議会では、茨城・栃木・群馬三県商工会議
所交流会議の提言要望事項の趣旨に賛同し、このたび、2月20日開会の定例
会において、意見書案を審議し、関係機関に提出する予定であります。

この意見書において、「地方創生と国土強靱化の推進に向けた首都圏外周環状
線の連結強化のための整備促進事業」を関東の広域にまたがる国家的なプロジ
ェクトとし、事業者を含めた国・県レベルの組織体制づくりと「首都圏整備計
画」に位置づけることを求めるものです。

各自治体で取り組まれている「地方創生」には、その事業を効果的に展開す
るために一地域の働きかけでは解決できず、広域的かつ長期的な見地で、国・
県・市町村・事業者等の相互連携が求められるものがあります。

沿線各市の市議会におかれましては、「地方創生」と「国土強靱化」という共
通課題の解決のため、この趣旨にご理解をいただくとともに、同様の意見書の
提出についてのご賛同もお願いいたしたく、ご案内申し上げます。

地方創生及び国土強靱化に向けた首都圏外周環状線連結強化のための整備促進を求めることについて

1 要望事項

「地方創生」及び「国土強靱化」の推進に向け、首都圏外周環状線（JR常磐線・水戸線・両毛線・八高線・横浜線・相模線）の連結強化のための各種整備促進を図ることを要望する。

- (1) この事業を、広域にまたがる国家的なプロジェクトと位置づけ、整備促進を図るため、事業者を含めた国・県レベルの組織体制づくりを推進すること。
- (2) この事業を、「首都圏整備計画」に位置づけ、積極的に推進すること。

2 要望先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、県知事

3 趣旨

(1) 地方創生

- ・交通網の整備・充実、暮らしやすいまちづくりや産業振興に寄与するだけでなく、東京一極集中の是正には欠かせない重要な要素である。
- ・北陸新幹線（H27）、北海道新幹線（H28）、リニア中央新幹線（H39）等の新幹線網の整備を契機に、首都圏の交流人口の増加や観光誘客、インバウンドの増加が期待される。
- ・沿線地域にとって、新幹線網とのアクセスの向上と、首都圏外周地域相互を結ぶ横軸の鉄道網の連結強化は、「地方創生」実現の大きな推進力になる。

(2) 国土強靱化

- ・首都直下地震の発生リスクの高さが緊急の課題として叫ばれる今こそ、東京圏を通過せず、水戸から茅ヶ崎間の物資及び人を運搬できる代替輸送機関を充実させておくことは、「国土強靱化計画」上でも大変重要なことである。

※ 参考：沿線自治体（27市。町除く。）

茨城県：水戸市、笠間市、桜川市、筑西市、結城市

栃木県：小山市、栃木市、佐野市、足利市

群馬県：桐生市、みどり市、伊勢崎市、前橋市、高崎市、藤岡市

埼玉県：本庄市、日高市、飯能市、入間市

東京都：福生市、昭島市、八王子市、町田市

神奈川県：相模原市、座間市、海老名市、茅ヶ崎市